

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 29 年 9 月 7 日 (2017.9.7)

【公開番号】特開 2017-129597 (P2017-129597A)
 【公開日】平成 29 年 7 月 27 日 (2017.7.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2017-028
 【出願番号】特願 2017-69908 (P2017-69908)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 33/68 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/68

C 1 2 Q 1/02 Z N A

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 22 日 (2017.6.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シヌクレインファミリーの C 末端酸性テールドメインペプチドに結合したサイトカインを含む融合タンパク質であって、前記サイトカインが、インターロイキン 2、インターロイキン 12、インターロイキン 15 およびインターロイキン 18 からなる群から選択され、シヌクレインファミリーの C 末端酸性テールドメインペプチドが、- シヌクレインの C 末端酸性テールドメインのアミノ酸残基 103 ~ 115 (配列番号 22)、アミノ酸残基 114 ~ 126 (配列番号 23)、アミノ酸残基 119 ~ 140 (配列番号 24) およびアミノ酸残基 130 ~ 140 (配列番号 25)、- シヌクレインの C 末端酸性テールドメインのアミノ酸残基 85 ~ 134 (配列番号 27)、- シヌクレインの C 末端酸性テールドメインのアミノ酸残基 1 ~ 127 (配列番号 28)、または、- シヌクレインの C 末端酸性テールドメインのアミノ酸残基 96 ~ 127 (配列番号 29) から選択される、全血試料中のナチュラルキラー (NK) 細胞を刺激することによって NK 細胞活性を測定することにおける使用のための前記融合タンパク質。

【請求項 2】

サイトカインがインターロイキン 2 である、請求項 1 に記載の融合タンパク質。

【請求項 3】

サイトカインがインターロイキン 12 である、請求項 1 に記載の融合タンパク質。

【請求項 4】

サイトカインがインターロイキン 15 である、請求項 1 に記載の融合タンパク質。

【請求項 5】

サイトカインがインターロイキン 18 である、請求項 1 に記載の融合タンパク質。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の融合タンパク質を含む、全血試料中のナチュラルキラー (NK) 細胞を刺激することによって NK 細胞活性を測定することにおける使用のための組成物。

【請求項 7】

配列番号 6 または配列番号 10 のアミノ酸配列と少なくとも 80 % の同一性、配列番号 2 のアミノ酸配列と少なくとも 84 % の同一性、配列番号 4 のアミノ酸配列と少なくとも 93 % の同一性、または、配列番号 8 のアミノ酸配列と少なくとも 88 % の同一性を有するアミノ酸配列を含む、全血試料中のナチュラルキラー（NK）細胞を刺激することによって NK 細胞活性を測定することにおける使用のためのポリペプチド。

【請求項 8】

配列番号 2、配列番号 4、配列番号 6、配列番号 8、または、配列番号 10 のアミノ酸配列と少なくとも 90 % の同一性を有する、請求項 7 に記載のポリペプチド。

【請求項 9】

配列番号 2、配列番号 4、配列番号 6、配列番号 8、または、配列番号 10 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % の同一性を有する、請求項 7 に記載のポリペプチド。

【請求項 10】

配列番号 2、配列番号 4、配列番号 6、配列番号 8、または、配列番号 10 のアミノ酸配列からなる、請求項 7 に記載のポリペプチド。

【請求項 11】

請求項 7 ~ 10 のいずれか一項に記載のポリペプチドをコードするオリゴヌクレオチド。

【請求項 12】

請求項 7 に記載のポリペプチドをコードする核酸配列を含み、核酸配列が、配列番号 1、配列番号 3、配列番号 5、配列番号 7 または配列番号 9 の核酸配列、または、それらの相補鎖と少なくとも 80 % の同一性を有する、オリゴヌクレオチド。

【請求項 13】

配列番号 1、配列番号 3、配列番号 5、配列番号 7 または配列番号 9 の核酸配列、または、それらの相補鎖と少なくとも 90 % の同一性を有する、請求項 12 に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項 14】

配列番号 1、配列番号 3、配列番号 5、配列番号 7 または配列番号 9 の核酸配列、または、それらの相補鎖と少なくとも 95 % の同一性を有する、請求項 12 に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項 15】

配列番号 1、配列番号 3、配列番号 5、配列番号 7 または配列番号 9 の核酸配列、または、それらの相補鎖からなる請求項 12 に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項 16】

請求項 11 ~ 15 のいずれか一項に記載のオリゴヌクレオチドを含む、ベクター。

【請求項 17】

請求項 16 に記載のベクターを含む、宿主細胞。

【請求項 18】

全血試料中のナチュラルキラー（NK）細胞を刺激し、それによって人為的に NK 細胞を活性化して NK 細胞分泌サイトカインを生成させる作用物質を含み、

作用物質が、ポリイノシン・ポリシチジン酸（ポリ I : C）、または、インターロイキン 2、インターロイキン 15 およびインターロイキン 18 からなる群から選択される少なくとも 1 つの精製 / 単離された刺激性サイトカインであるか、あるいは、それを含む、NK 細胞活性を測定するためのキット。

【請求項 19】

NK 細胞分泌サイトカインがインターフェロン - ガンマ（IFN - ）である、請求項 18 に記載のキット。

【請求項 20】

NK 細胞分泌サイトカインが腫瘍壊死因子 - アルファ（TNF - ）である、請求項 18 に記載のキット。

【請求項 21】

抗 I N F - 抗体、抗 T N F - 抗体および抗 M I P - 1 抗体の群から選択される少なくとも 1 つの抗体をさらに含む、請求項 18 に記載のキット。